

2020年3月期

# 決算説明

2020年5月29日

株式会社ジャムコ

# 技術のジャムコは、 士魂の気概をもって



- 一、夢の実現にむけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めていきます。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

- この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度に関するさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績はこれらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。
- この資料における数値について、記載金額は、表示桁未満を切捨てしており、増減率(%)は、表示桁未満を四捨五入して作成、表示しております。
- 本資料を(株)ジャムコの許可無く転載・複写することを禁じます。又、本資料を使用することにより生じたいかなる損害について(株)ジャムコは一切責任を負いません。

## Contents

### SECTION

### 1

## 2020年3月期 決算の状況

- 04 | グループ連結P/L
- 05 | 連結経常利益の前期比差異要因
- 06 | 連結経常利益の計画比差異要因
- 07 | セグメント別 売上高・経常利益①(前期比/計画比)
- 08 | セグメント別 売上高・経常利益②(前期比)
- 09 | セグメント別 売上高・経常利益③(計画比)
- 10 | グループ連結B/S
- 11 | グループ連結 試験研究費/設備投資額/減価償却費
- 12 | グループ子会社の状況

### SECTION

### 2

## 中期3ヶ年計画

- 14 | 経営環境と市場動向
- 15 | 中期ビジョン
- 16 | 中期の課題と対応

# 2020年3月期 決算の状況

- 04 | グループ連結P/L
- 05 | 連結経常利益の前期比差異要因
- 06 | 連結経常利益の計画比差異要因
- 07 | セグメント別 売上高・経常利益①(前期比/計画比)
- 08 | セグメント別 売上高・経常利益②(前期比)
- 09 | セグメント別 売上高・経常利益③(計画比)
- 10 | グループ連結B/S
- 11 | グループ連結 試験研究費/設備投資額/減価償却費
- 12 | グループ子会社の状況

## SECTION

# 1

2020年3月期 決算の状況

【単位:百万円】

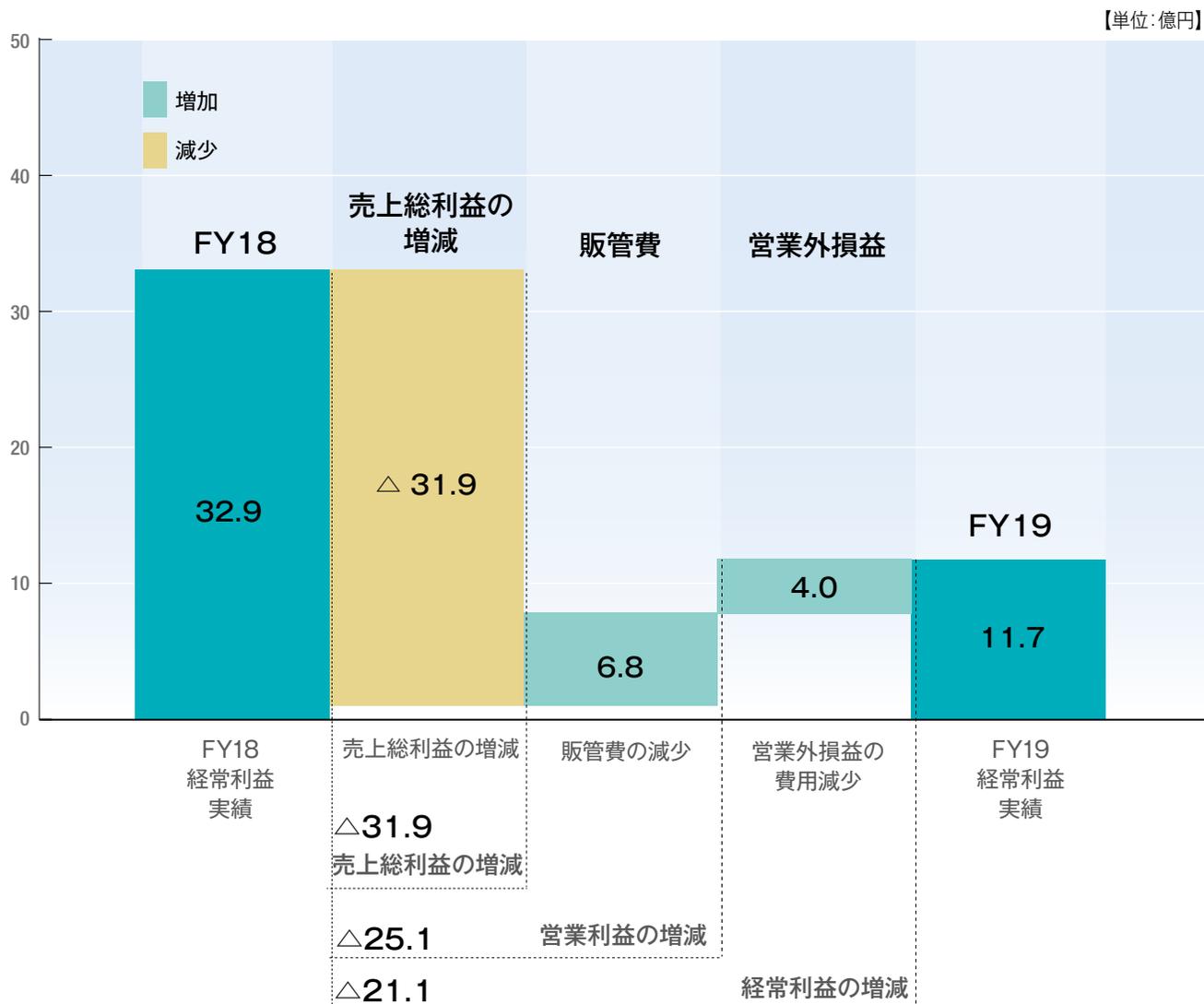
	FY18 (実績)	FY19 (計画)	FY19 (実績)	前期比 (増減)	計画比 (増減)
売上高	84,068	92,600	91,535	7,467	△ 1,064
売上総利益	13,643	12,723	10,444	△ 3,198	△ 2,278
販管費	9,321	9,796	8,636	△ 684	△ 1,159
営業利益	4,321	2,900	1,807	△ 2,513	△ 1,092
営業外損益	△ 1,030	△ 694	△ 629	401	64
経常利益	3,290	2,200	1,178	△ 2,112	△ 1,021
特別損益	△ 263	△ 251	△ 279	△ 16	△ 28
税金等調整前当期純利益	3,026	1,982	898	△ 2,128	△ 1,083
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,910	1,300	605	△ 1,304	△ 694
1株当たり当期純利益 (円)	71.23	48.46	22.58	—	—
売上為替レート (円/USドル)	109.74	107.07	109.34	—	—

(注)計画とは、2019年11月8日の決算発表時の業績予想数値です。

# 1 連結経常利益の前期比差異要因

2020年3月期 決算の状況

## ■ 前期比 △21.1億円



## Point

### 売上総利益

- 不適切な品質事案への対応による追加費用の発生

### 販管費

- 保証工事費の減少 +5.4億円
- 販売手数料の減少 +1.2億円
- その他 +0.1億円

### 営業外損益

- 支払補償費の減少 +7.0億円
- 為替差損益の悪化 △4.3億円
- その他 +1.2億円

# 1 連結経常利益の計画比差異要因

2020年3月期 決算の状況

## ■ 計画比 △10.2億円

【単位：億円】



## Point

### ■ 売上総利益

- 新型コロナ影響による売上高減少
- 一部プログラムの生産性改善遅れにより減少

### ■ 販管費

- 試験研究費の減少 +3.8億円
- 販売手数料の減少 +2.8億円
- 保証工事費の減少 +1.0億円
- その他 +3.7億円

### ■ 営業外損益

- 為替差損益の好転 +1.6億円
- その他 △1.0億円

## セグメント別 売上高・経常利益① (前期比/計画比)

2020年3月期 決算の状況

【単位:百万円】

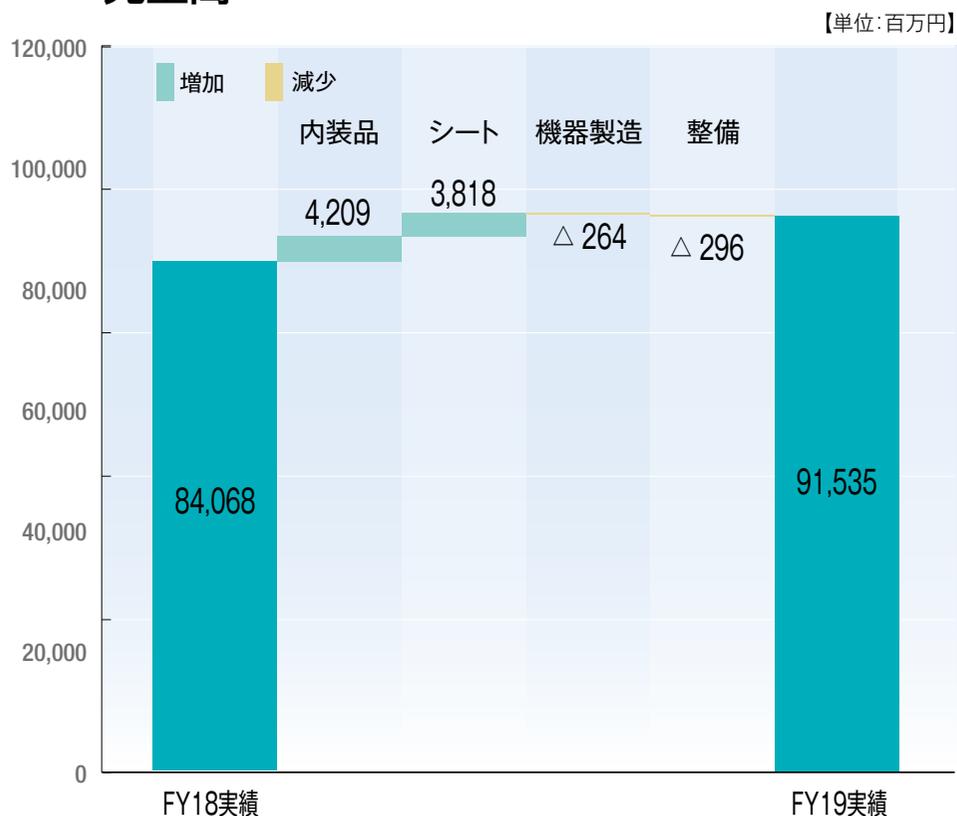
	売上高					経常利益				
	FY18 (実績)	FY19 (計画)	FY19 (実績)	前期比 (増減)	計画比 (増減)	FY18 (実績)	FY19 (計画)	FY19 (実績)	前期比 (増減)	計画比 (増減)
航空機内装品	56,869	62,200	61,078	4,209	△ 1,121	6,113	3,200	3,107	△ 3,005	△ 92
航空機シート	12,175	15,100	15,994	3,818	894	△ 3,143	△ 1,500	△ 2,499	643	△ 999
航空機器製造	6,597	6,900	6,333	△ 264	△ 566	110	300	6	△ 104	△ 293
航空機整備	8,426	8,200	8,129	△ 296	△ 70	210	200	567	357	367
その他	0	0	0	0	0	0	△ 10	△ 4	△ 3	5
合計	84,068	92,600	91,535	7,467	△ 1,064	3,290	2,200	1,178	△ 2,112	△ 1,021

(注)「その他」はオレンジジャムコの事業を含んでおります。

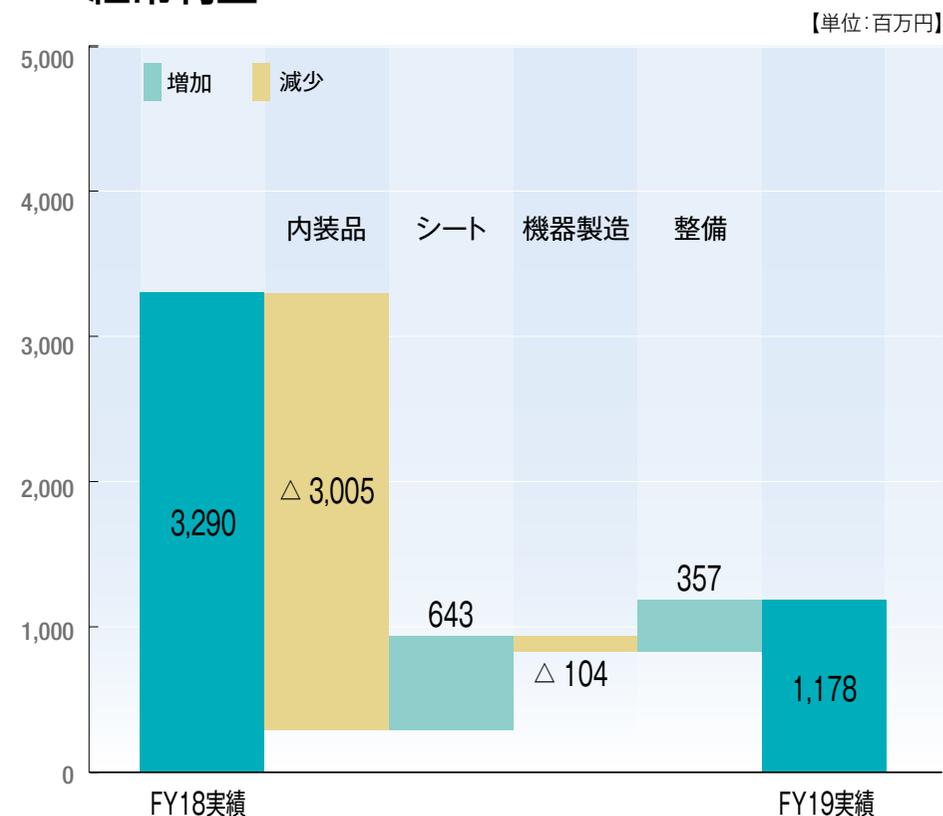
## セグメント別 売上高・経常利益② (前期比)

2020年3月期 決算の状況

## 売上高



## 経常利益



## Point

- 内装品は新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大するまでは、堅調であった航空需要を背景に増加
- シートは当連結会計年度より出荷を開始したビジネスクラス・シート「Venture」の出荷が進み増加

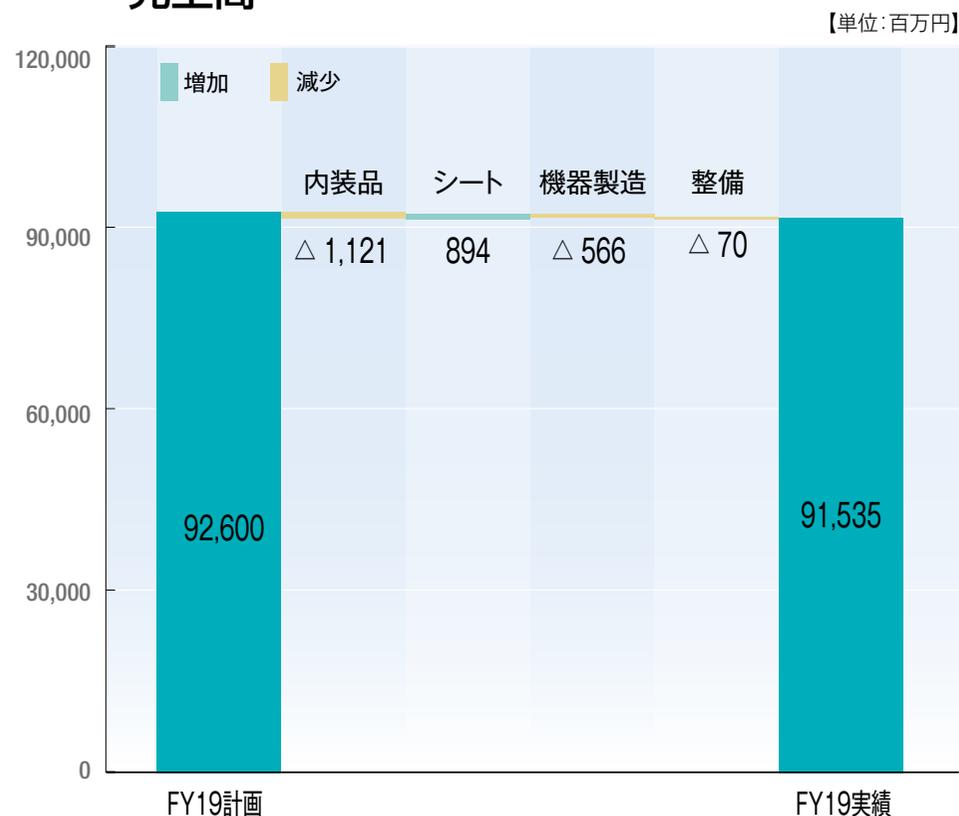
## Point

- 内装品は品質事案への対応による追加費用の発生、前期における採算性の良いプログラムの出荷による反動、為替差損の発生により減益
- シートはビジネスクラス・シート「Venture」とスペアパーツ販売の売上高増加により改善
- 整備はエアライン向け機体整備が堅調に増加したことで採算性向上により増加

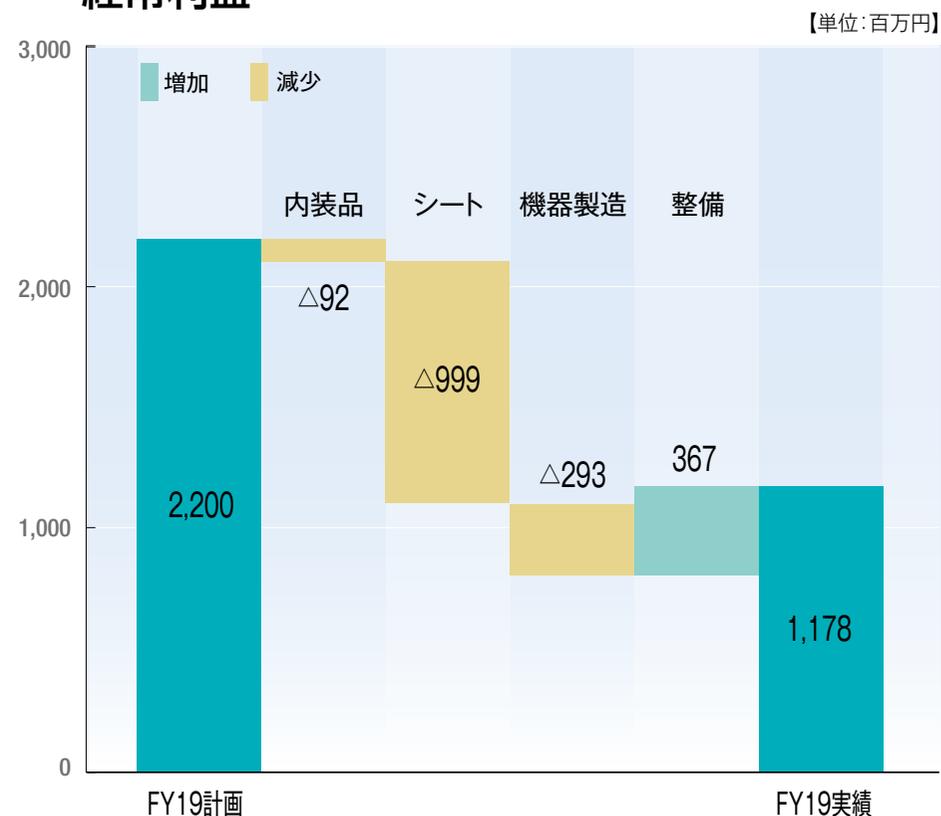
## セグメント別 売上高・経常利益③ (計画比)

2020年3月期 決算の状況

## 売上高



## 経常利益



## Point

- 内装品は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、一部出荷が繰り延べられたことにより減少
- シートは一部プログラムの出荷が前倒しになったことにより増加
- 機器製造は炭素繊維構造部材や熱交換器等装備品の一部出荷が繰り延べられたことにより減少

## Point

- シートは一部プログラムの生産性改善の遅れにより減少
- 機器製造は売上高の減少
- 整備はエアライン向け機体整備が堅調に増加したことで採算性向上により増加

2020年3月期 決算の状況

【単位:百万円】

科目	FY18末 2019年3月31日現在	FY19末 2020年3月31日現在	増減
〈資産の部〉			
<b>流動資産</b>			
現金及び預金	5,822	8,690	2,868
受取手形及び売掛金	22,571	31,898	9,327
棚卸資産	48,727	52,251	3,524
その他流動資産	3,480	4,890	1,409
<b>流動資産合計</b>	<b>80,602</b>	<b>97,732</b>	<b>17,130</b>
<b>固定資産</b>			
有形固定資産	13,988	13,766	△ 222
無形固定資産	1,750	1,999	248
投資その他の資産	6,640	6,686	46
<b>固定資産合計</b>	<b>22,378</b>	<b>22,451</b>	<b>73</b>
<b>資産合計</b>	<b>102,980</b>	<b>120,184</b>	<b>17,203</b>

科目	FY18末 2019年3月31日現在	FY19末 2020年3月31日現在	増減
〈負債の部〉			
<b>流動負債</b>			
支払手形及び買掛金	8,821	11,394	2,573
電子記録債務	8,910	9,551	640
短期借入金	17,404	36,386	18,982
1年内返済予定の長期借入金	2,300	1,200	△ 1,100
前受金	10,675	8,644	△ 2,030
工事損失引当金	3,781	3,607	△ 173
その他流動負債	7,664	6,164	△ 1,499
<b>流動負債合計</b>	<b>59,556</b>	<b>76,949</b>	<b>17,393</b>
<b>固定負債</b>			
長期借入金	3,700	3,500	△ 200
その他固定負債	9,008	9,361	352
<b>固定負債合計</b>	<b>12,708</b>	<b>12,861</b>	<b>152</b>
<b>負債合計</b>	<b>72,265</b>	<b>89,811</b>	<b>17,545</b>
〈純資産の部〉			
<b>純資産合計</b>	<b>30,715</b>	<b>30,373</b>	<b>△ 341</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>102,980</b>	<b>120,184</b>	<b>17,203</b>

## Point

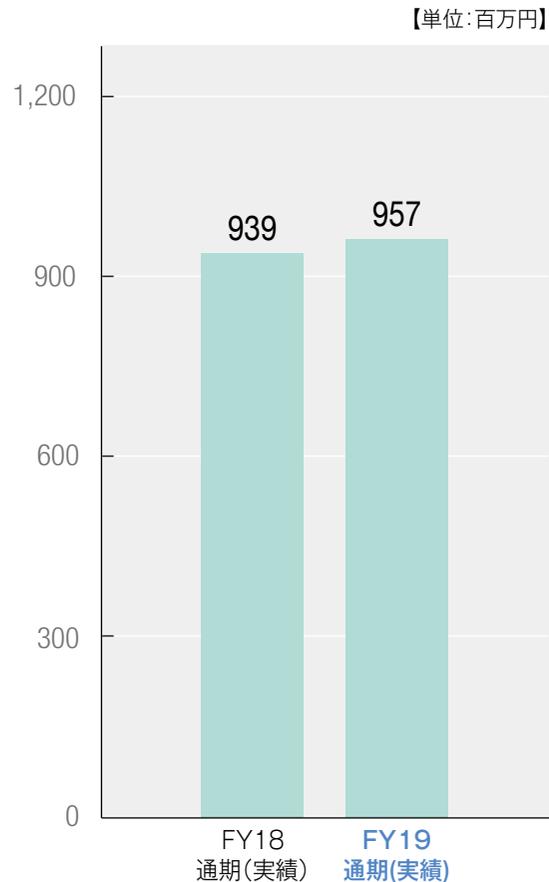
■ 受取手形及び売掛金、棚卸資産は内装品の売上高増加により増加

■ 受取手形及び売掛金、棚卸資産の増加により借入金が増加

■ 自己資本比率 29.3% → 24.8%

2020年3月期 決算の状況

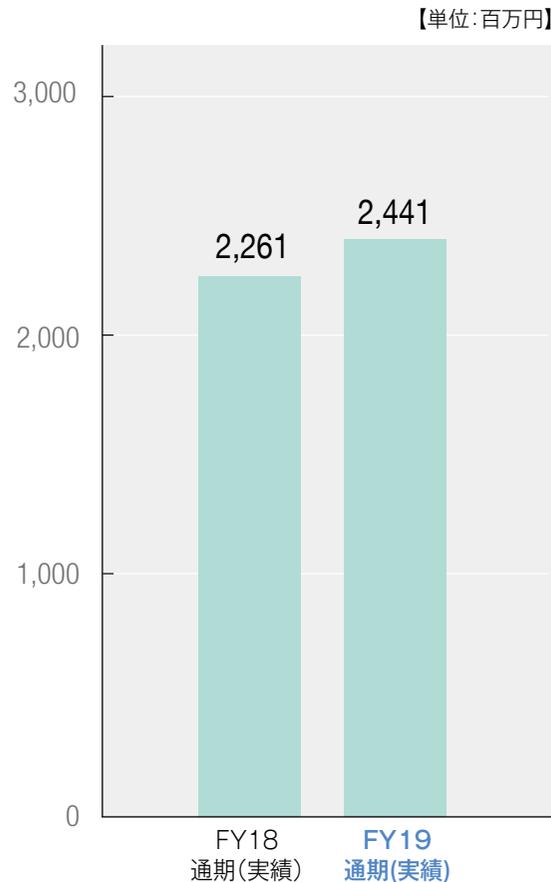
試験研究費(連結)



Point

- FY19通期(実績)  
次期プレミアム・シート、内装品軽量化材料などの開発 ADP各種試験

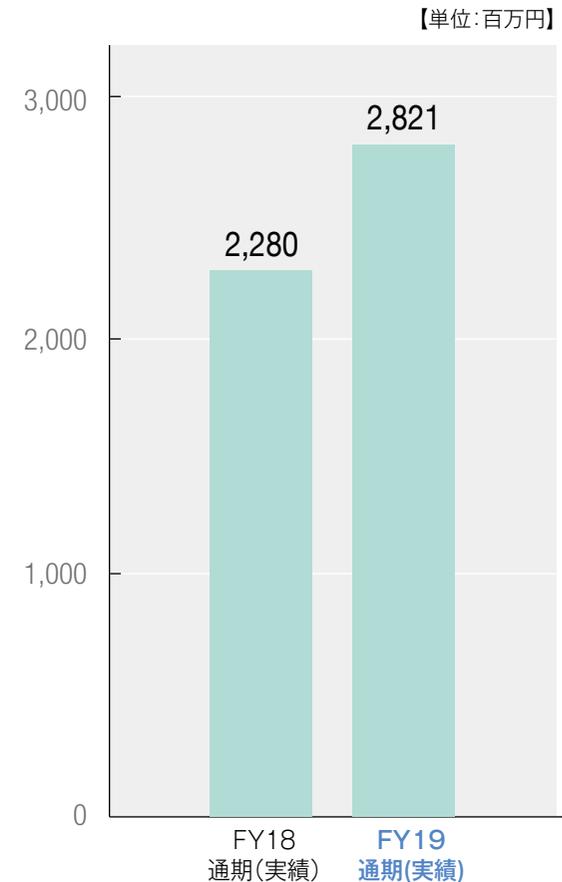
設備投資額(連結)



Point

- FY19通期(実績)  
自動化やソフトウェアなどのIT関連内装品製造のための金型

減価償却費(連結)



# グループ子会社の状況

2020年3月期 決算の状況

【単位:百万円】

	当社	新潟 ジャムコ	宮崎 ジャムコ	中条 ジャムコ	ジャムコ アメリカ	ジャムコ エアロデザイン エンジニアリング	ジャムコ シンガポール	ジャムコ フィリピン	ジャムコ エアロ マニュファク チャリング	徳島 ジャムコ	ジャムコ エアロテック	オレンジ ジャムコ
売上高	83,528	4,049	1,203	1,205	21,971	1,528	1,501	807	1,083	720	404	109
営業利益	1,707	65	138	74	△ 507	93	△ 166	55	31	27	16	5
経常利益	1,580	80	155	71	△ 619	132	△ 161	46	31	31	16	5
当期純利益	1,039	63	33	48	△ 447	111	△ 154	18	20	20	10	3

(注1)ジャムコアメリカは一部プログラムの生産性改善の遅れに伴う収益悪化

(注2)ジャムコシンガポールは売上減少に伴う収益悪化

# 中期3ヶ年計画

14 | 経営環境と市場動向

15 | 中期ビジョン

16 | 中期の課題と対応

## SECTION

# 2

中期3ヶ年計画の業績予想については、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算定することが困難であることから、未定としております。今後、開示が可能となった段階で公表いたします。

- **世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の事態により、移動制限や感染防止のための操業停止等に伴う深刻な経済損失の発生と景気後退への危機的状況にある。為替変動に関しては、米国政策金利の利下げや各国の経済政策の動向と地政学的リスクの高まりにより先行き不透明な状況にあり、2020年度は予断を許さない状況が続くと見込まれる。**
- **航空輸送業界においては、航空需要の急激な減少に伴い、大規模な減便や運休が発生するなど航空会社は甚大な損失を被っている。**
- **機体メーカーは、2019年において、ボーイングは、737MAX型機の墜落事故に起因した納入停止の影響や、飛行停止に伴う航空会社への補償費の計上により、通期決算は22年ぶりの赤字となった。一方、エアバスは堅調に納入機数を伸ばし、両社の明暗が分かれた。当社経営に対する機体別動向を見ると、737MAXの生産停止に係わる影響は軽微である。一方、強みを発揮する中・大型機市場においては、新型コロナウイルスの感染拡大による航空需要の低下により、短期的にはボーイング787型機およびボーイング777X型機、エアバスA350型機は減産見込みである。又、航空会社の補用品需要も大幅に低下する見込みであるが、各国の経済活動再開後は航空需要の回復と共に改善するものと思われる。**

## 中期ビジョン

- **航空機分野に特化し、内装品事業を基軸に、機器製造、航空機整備の能力を集約し、航空機内装品のリーディング・カンパニーとなる**

## 中期経営指標

- **収益性指標：連結経常利益率7%以上**
- **効率性指標：連結ROA7%以上**
- **配当方針：連結配当性向20~30%を目安とする**

新型コロナウイルス感染症の終息時期が不明な状況であり、当面は厳しい経営環境が続くと想定し、将来の航空需要回復に備え、業務のムリ・ムダ・ムラを排除し、更なる生産体制の効率化を推進いたします。

また、航空需要の低下に伴う減産は、すべての事業に大きな影響を及ぼす見込みであり、全社レベルで品質、生産、財務、人財、IT戦略を含めた業務プロセスの改革を推進し、品質向上と共に収益力の向上をめざしてまいります。

- 航空機内装品**
- ① SMS (安全管理システム) の確実な実行と、QMS (品質管理システム) の見直しによる品質管理体制の強化に取り組み、顧客からの信頼回復を行う。
  - ② グローバルな競争環境の変化への対応に加えて、競争力の強化、為替変動リスク対策として、国内外における生産拠点の戦略的な整理に取り組む。
  - ③ 「技術と品質のジャムコ」として、QCD:品質・コスト・納期の更なる向上、新規設計開発の確実な実行、次期内装品事業の成長の種 (新規分野・新技術・新材料) へ積極的に投資を行い、競争力強化を推進する。
- 航空機シート**
- ① 過去に受注したカスタムメイドシートにおける初期開発・製造原価超過の影響が残るものの、2021年度中には納入を完了予定であり、黒字化と安定的な収益基盤の構築のため、標準型プラットフォームを活用したビジネスクラス・シート (Venture) の販売拡大に取り組む。
  - ② マネジメント力の向上及びグループ・サプライチェーンの連携強化を図り標準型プラットフォームを活用した次期プレミアム・シート供給体制の整備を行う。
  - ③ ビジネスクラス・シート (Venture) の販売拡大に取り組む一方で、標準型プラットフォームを活用した次期プレミアム・シートの開発により、継続的な成長戦略を実行していく。
- 航空機器製造**
- ① 設計製造能力の向上、NADCAP認定を取得している特殊工程技術力の活用により競争力を強化し、技術的付加価値の高い製品の受注を促進すると共に、付加価値と競争力による受注品目の選択と集中を図る。
  - ② ADP事業は新製品の開発および他企業との協業、新規分野への展開を含めてビジネスモデルの再構築に取り組む。
  - ③ 機器製造の技術力を内装品事業・シート事業へ適用しシナジー効果を高める。
- 航空機整備**
- ① 選択と集中により高付加価値を提供するMRO (Maintenance Repair Overhaul) 事業への転換を推進し安定した収益を上げることのできる事業基盤の構築を目指す。
  - ② 整備事業を通じて得た情報を内装品・シート・機器事業へフィードバックすることで、グループ経営におけるシナジー効果を高めることに取り組む。

# 2020年3月期 決算説明会 添付資料

- 18 | 企業グループ概要
- 19 | 事業概要-① 航空機内装品製造事業
- 20 | 事業概要-② 航空機シート製造事業
- 21 | 事業概要-③ 航空機器製造事業
- 22 | 事業概要-④ 航空機整備事業
- 23 | 事業概要-⑤ 国内関連会社
- 24 | 事業概要-⑥ 海外関連会社
- 25 | 航空機メーカーの受注残
- 26 | 新型旅客機の開発・生産状況
- 27 | ボーイング・エアバスの受注・納入状況
- 28 | ボーイングの受注・納入状況
- 29 | エアバスの受注・納入状況
- 30 | 世界の航空旅客予測

SECTION

3

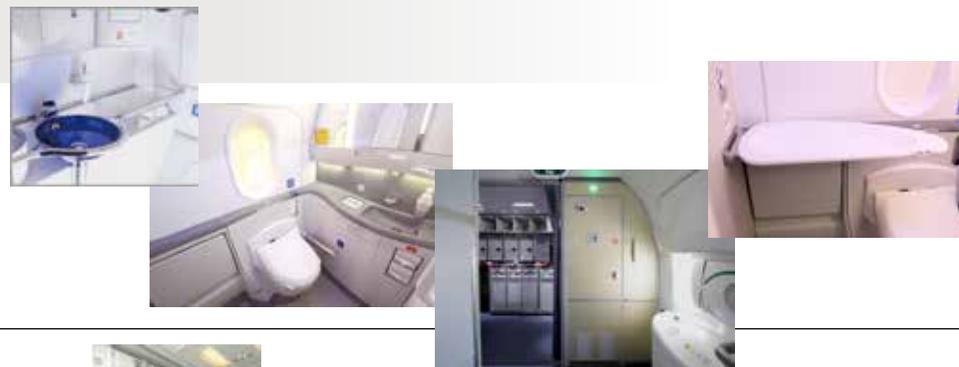
## 会社概要



## 航空機内装品製造事業

### 航空機用ラバトリー(化粧室)の製造

- ボーイング747-8・767・777・777X・787向け  
ラバトリーを独占供給



### 航空機用ギャレー(厨房設備)の製造

- ボーイング747-8・767・777・777X・787・737に搭載
- エアバスA380・A330・A340・A320に搭載
- 世界の航空会社約100社へ納入
- 787向けギャレーを独占供給
- A350向けICE (Increased Cabin Efficiency) リアギャレーを供給



A350ICEリアギャレー  
(写真提供:エアバス社)

### 航空機改修事業

- 客室内装備品の新規搭載、配置換え、及びキャビンクルーの  
休憩室搭載等に関する、設計、プロジェクトの管理、取付用部品の製造と認証取得
- アメリカ連邦航空局 (FAA) よりODA認定を取得 (ジャムコアアメリカ)  
FAAに代わって航空機客室改造の追加型式証明の発行が可能
- 欧州航空安全庁 (EASA) より設計認証 (DOA) を取得 (ジャムコアエアロデザイン&エンジニアリング)



## 航空機シート製造事業

### 航空機用シートの製造

- **ボーイング787向けプレミアムクラスシート**

スタンダードシート (商品名Venture)

KLM、AEA



シンガポール航空提供



Quest for Elegance

- **エアバス向けA350 ACS (Airbus Contracted Supplier) シート**

スタンダードシート (商品名Journey™ ビジネスクラスシート)

- **シンガポール航空向けファースト、ビジネスクラスシート**

ボーイング777-300ER用ファースト、ビジネスクラスシート

エアバスA350用/A380用ビジネスクラスシート



- **ANA社向けファーストクラスシート**

エアバスA380用ファーストクラスシート



- **JAL社向けファーストクラスシート**

エアバスA350用ファーストクラスシート



Venture



CMF designed by mormedi

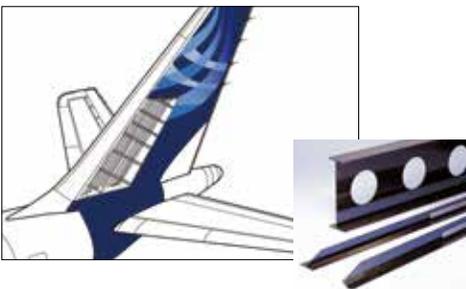
## 航空機器製造事業



### 航空機用熱交換器及び 各種航空機搭載機器の製造



### ジェットエンジン部品の製造



### 航空機用炭素繊維構造部材の製造

- エアバスA380用2階床構造部材 (ADP)
- エアバスA350を除くエアバス機の垂直尾翼構造部材 (ADP)
- エアバスA350貨物室床下構造材

## 航空機整備事業

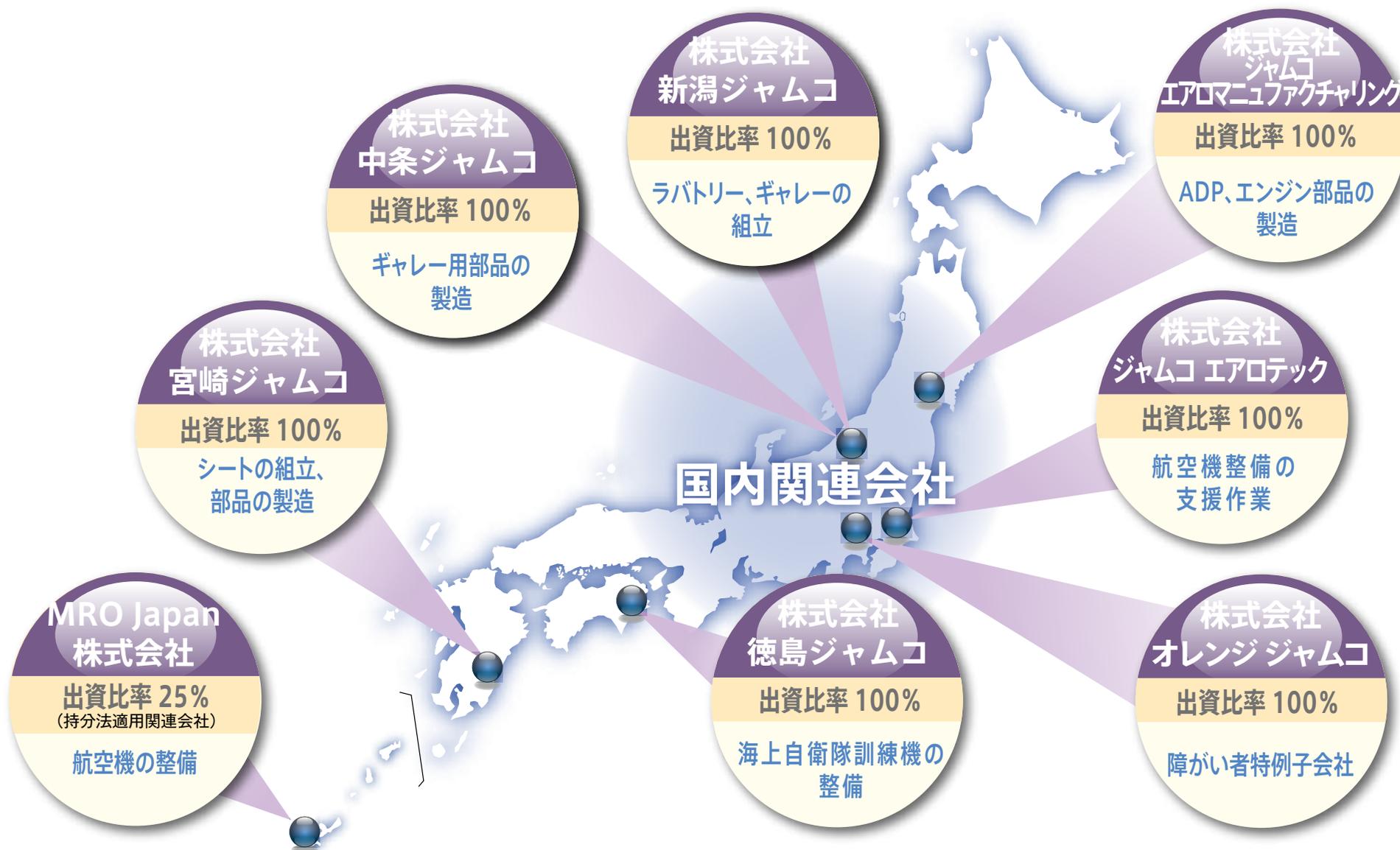


### 防衛省、海上保安庁、航空大学校、 エアラインなどの航空機、 装備品整備事業



- 中型・小型航空機及びヘリコプターの整備・改造
- リージョナル機の整備
- プロペラ、脚、航空電子機器の整備
- 車輪、ブレーキ、救難用ホイス（吊り上げ装置）のオーバーホール
- 大型旅客機客室内装備品の整備
- 緊急脱出スライドの整備
- 航空機用高圧ガスボトルの整備

## 会社概要



(注)出資比率はグループ出資比率

## 会社概要



## ボーイング社の受注残機数

狭胴機

4,584 機

(前年同期 4,894機)

広胴機

1,040 機

(前年同期 1,197機)

## エアバス社の受注残機数

狭胴機

6,563 機

(前年同期 6,536機)

広胴機

919 機

(前年同期 1,041機)

(注)2019年12月末時点

出所：ボーイング社 HP、エアバス社 HP

### ■ 787の生産状況

- 2020年3月末日現在、968機の引き渡しを完了
- 2020年3月末日現在、受注残機数は542機
- 生産レートは2020年後半から段階的に減産し、現在の月産14機から2022年には7機までに引き下げ

### ■ 777Xの開発状況

- 2021年に初号機引き渡し予定
- 2020年3月末日現在、受注残機数は309機
- 生産レートは2021年に777と合わせて現在の月産5機から月産3機に引き下げ

### ■ 737MAXの生産状況

- 2020年3月末日現在、387機の引き渡しを完了
- 2020年3月末日現在、受注残機数は4,246機
- 2020年中に生産再開、2021年に月産31機まで段階的に増産を予定

### ■ A380の生産状況

- 2020年3月末日現在、251機の引き渡しを完了
- 2020年3月末日現在、受注残機数は9機
- 2021年生産中止

### ■ A350XWBの生産状況

- 2020年3月末日現在、361機の引き渡しを完了
- 2020年3月末日現在、受注残機数は569機

### ■ A330neoの生産状況

- 2020年3月末日現在、46機の引き渡しを完了
- 2020年3月末日現在、受注残機数は287機

### ■ A320ファミリーneoの生産状況

- 2020年3月末日現在、1,277機の引き渡しを完了
- 2020年3月末日現在、受注残機数は6,159機

出所：ボーイング社 HP、エアバス社 HP

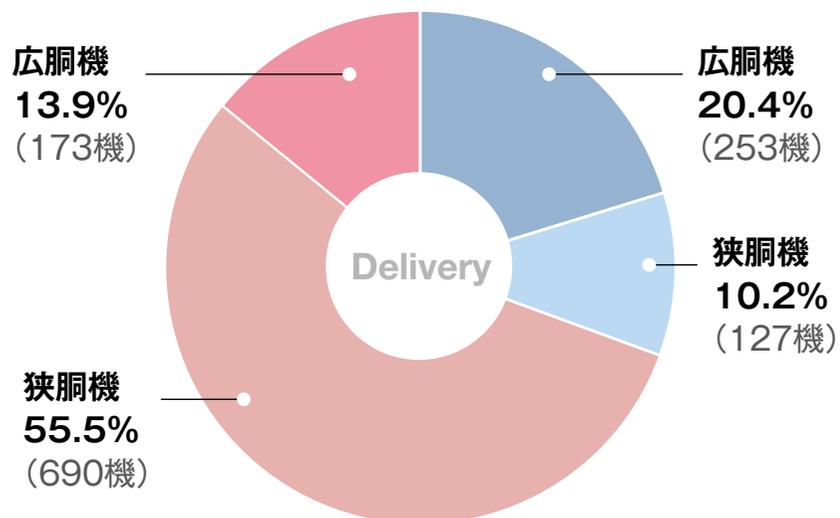
(2019年1月～12月累計)

## 納入状況

●エアバス社

69.4%  
(863機)

●ボーイング社

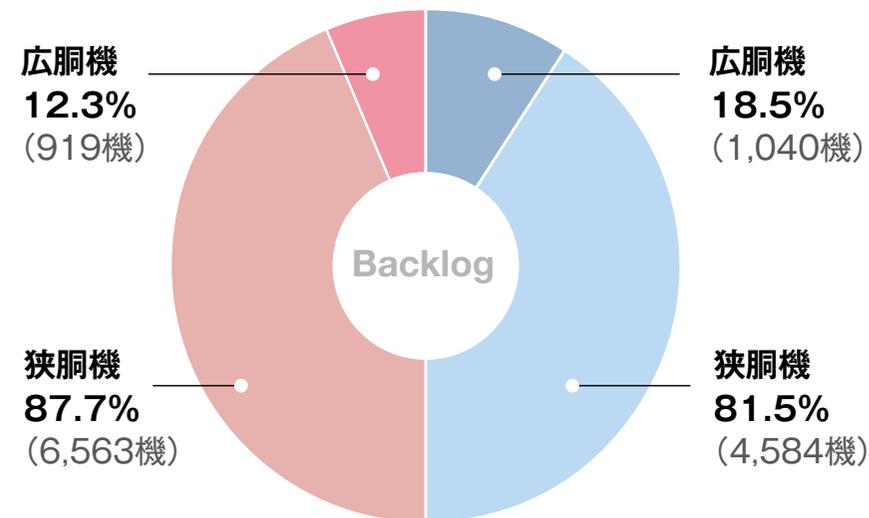
30.6%  
(380機)

## 受注残状況

●エアバス社

57.1%  
(7,482機)

●ボーイング社

42.9%  
(5,624機)

出所：ボーイング社 HP、エアバス社 HP

(2019年1月～12月累計)

	受 注	納 入	受 注 残
ボーイング合計	△ 81	380	5,630
<b>747</b>	0	7	17
<b>777X</b>	△ 17	0	309
<b>777</b>	19	45	79
<b>787</b>	74	158	547
<b>767</b>	26	43	94
<b>737</b>	△ 183	127	4,584

(注1) ■色の機種は広胴機(ワイドボディ機)を示す。

(注2) 受注は正味受注機数を示す。

出所：ボーイング社 HP

(2019年1月～12月累計)

	受 注	納 入	受 注 残
エアバス合計	768	863	7,482
<b>A380</b>	△ 70	8	9
<b>A350</b>	32	112	579
<b>A330/A340</b>	89	53	331
<b>A320ファミリー</b>	654	642	6,068
<b>A220ファミリー</b>	63	48	495

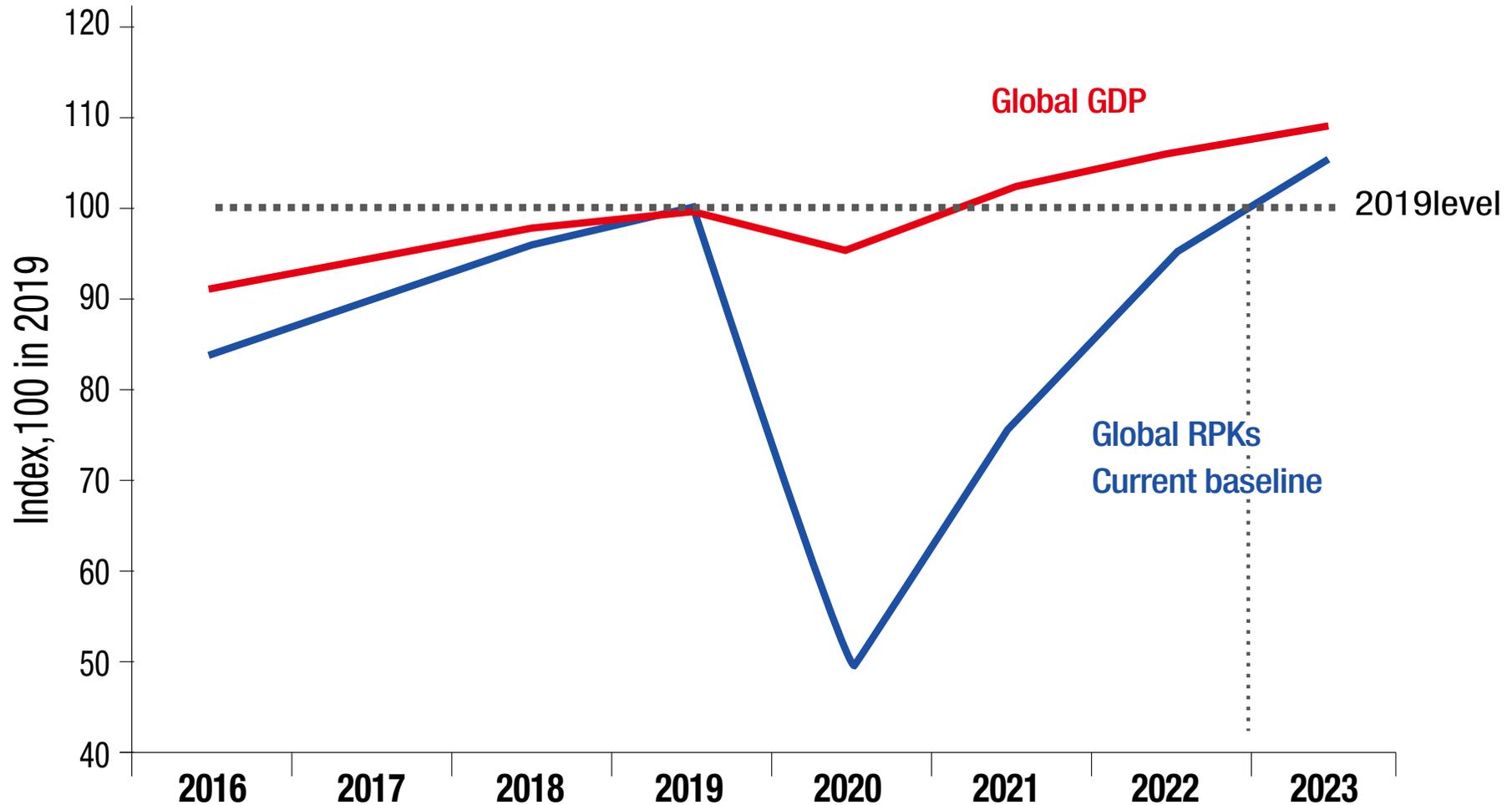
(注1) ■色の機種は広胴機(ワイドボディー機)を示す。

(注2) 受注は正味受注機数を示す。

出所：エアバス社 HP

新型コロナウイルスの影響により、航空旅客輸送量の回復は2023年と予測。

Global GDP and global RPKs, indexed to equal 100 in 2019



出典：IATA, 「COVID-19 Outlook for air travel in the next 5 years 13th May 2020」

## AIRCRAFT INTERIORS

### 内装品



ギャレー

(写真提供:エアバス社)  
A350ICEリアギャレー



フライトデッキ内装

スチームオープン



ラバトリー

パーユニット

## AIRCRAFT SEAT

### シート



Quest for Elegance



CMF designed by mormedi  
Venture



Venture

## AIRCRAFT COMPONENTS

### 機器製造



ヒートエクスチェンジャー  
(チューブタイプ)



エンジン部品



ブリクローラ

A380床構造部材  
(写真提供:エアバス社)



ADP



電子機器搭載用シャーシ

## AIRCRAFT MAINTENANCE

### 整備



中・小型機の整備、改造



各種装備品の整備

## Jamco News

### ボーイング787 1000号機向け内装品の製造記念

2009年3月に同型機向けのギャレーを初出荷して以来、2013年に100号機向け、2016年に500号機向け、そしてそれからわずか3年後の2019年に1000号機向けの生産に達しました。

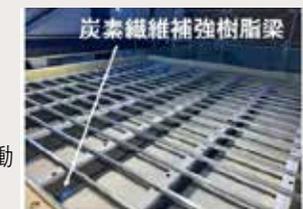
当社グループでは引き続き、高い安全性と品質が求められる航空機内装品のサプライヤーとして、航空業界の発展に貢献してまいります。



### ADP製法を用いた乾式防振浮床工法 「T-Silent CFRP Floor」の開発

大成建設株式会社と共同で、当社独自の炭素繊維構造部材自働成形法「Advanced Pultrusion (ADP)」で製造する軽量の炭素繊維補強樹脂(以下、CFRP)製梁を用いた、乾式防振床工法「T-Silent CFRP Floor」を開発いたしました。

ADP製法は、当社が航空機分野においてCFRP製の機体構造部材製造のために開発した独自の連続成型製法であり、小型旅客機から大型旅客機まで幅広く採用されているものです。



炭素繊維補強樹脂を用いた防振浮床工法  
「T-Silent CFRP Floor」の開発

# 「主要な経営指標等の推移」(単独&連結)



2020/5/29

	第70期	第71期	第72期	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期
事業年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
決算年月	平成22年3月	平成23年3月	平成24年3月	平成25年3月	平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月	令和2年3月
決算年月(西暦)	10/3	11/3	12/3	13/3	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3
受注高(千円)	36,744,586	46,589,922	42,620,362	60,143,884	64,614,722	90,652,812	74,841,109	75,695,946	74,644,363	78,145,931	65,565,185
売上高(千円)	35,754,557	37,227,013	41,312,217	45,411,710	57,781,450	68,610,585	78,948,834	68,271,976	66,183,622	76,447,669	83,528,487
営業損益(千円)	673,105	1,995,483	1,267,139	3,076,094	5,871,734	6,188,816	7,245,332	2,231,020	2,979,866	3,104,061	1,707,688
経常損益(千円)	355,439	1,640,493	1,196,316	3,570,897	6,264,568	7,683,432	6,549,822	1,673,870	2,309,708	2,537,842	1,580,574
当期純損益(千円)	18,330	240,664	549,287	2,147,284	3,877,394	4,760,719	4,138,989	1,285,351	1,576,467	2,034,592	1,039,041
資本金(千円)	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893
期中平均発行株式数(株)	26,833,645	26,831,175	26,827,897	26,826,088	26,825,601	26,825,468	26,825,392	26,825,267	26,825,217	26,825,183	26,825,072
期末発行済株式総数(株)	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974
自己株式数(株)(期末日現在の実質数)	31,129	34,967	37,334	38,304	38,444	38,551	38,635	38,730	38,762	38,832	38,932
純資産額(千円)	13,074,339	13,126,526	13,561,432	15,615,861	19,250,958	22,966,513	26,152,914	26,312,122	27,836,077	29,300,161	29,690,551
ROE(株主資本当期純利益率)(資本は期首&期末の平均)	0.14%	1.84%	4.12%	14.72%	22.24%	22.94%	16.85%	4.90%	5.82%	7.12%	3.52%
総資産額(千円)	49,430,894	48,295,924	46,485,445	52,723,530	58,978,004	70,710,607	72,509,966	77,835,781	82,016,116	91,132,873	106,949,584
ROA(総資産経常利益率)(資産は期首&期末の平均)	0.71%	3.36%	2.52%	7.20%	11.22%	11.85%	9.15%	2.23%	2.89%	2.93%	1.60%
1株当たり純資産額(円)(期末純資産÷期末発行済株式数)(注)	487.25	489.27	505.52	582.12	717.64	856.15	974.93	980.87	1,037.68	1,092.26	1,106.82
1株当たり配当額(円)	5.00	3.00	3.00	10.00	15.00	35.00	10.00	10.00	20.00	20.00	20.00
1株当たり当期純損益(円)(株数は期中平均株式数)(注)	0.68	8.97	20.47	80.04	144.54	177.47	154.29	47.92	58.77	75.85	38.73
自己資本比率(期末比)	26.45%	27.18%	29.17%	29.62%	32.64%	32.48%	36.07%	33.80%	33.94%	32.15%	27.76%
決算日又は、前直近日の株価(円/1株)	519	451	470	786	1,925	2,816	2,816	2,475	2,242	2,314	701
株価収益率(倍)(決算日株価÷1株利益)	763.24	50.28	22.96	9.82	13.32	20.65	18.25	51.65	38.15	30.51	18.10
配当金(千円)	134,164	80,487	80,479	268,256	402,382	938,889	1,073,013	268,252	536,504	536,502	536,500
配当性向(1株配当金/1株当期利益)	735.29%	33.44%	14.66%	12.49%	10.38%	19.72%	25.93%	20.87%	34.03%	26.37%	51.63%
株主資本配当率(DOE=Dividend on equity ratio)	1.02%	0.61%	0.60%	1.84%	2.31%	4.45%	4.37%	1.02%	1.98%	4.45%	1.82%
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	504,949	▲363,662	3,110,048	2,951,089	2,521,252	3,765,734	6,177,029	▲896,879	▲599,406	6,706,065	▲9,592,851
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	▲1,141,631	▲494,362	▲559,926	▲4,004,306	▲1,918,364	▲3,844,933	▲3,052,511	▲2,348,081	▲2,369,209	▲1,639,551	▲2,260,587
フリー・キャッシュ・フロー(千円)	▲636,682	▲858,024	2,550,121	▲1,053,217	602,888	▲79,198	3,124,518	▲3,244,961	▲2,968,616	5,066,513	▲11,853,438
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	▲1,386,285	▲243,088	▲3,743,455	1,058,244	▲1,073,676	961,933	▲3,158,782	2,421,079	3,100,700	▲3,652,797	13,624,872
従業員数(人:年間平均)	1,232	1,225	1,219	1,224	1,231	1,309	1,292	1,307	1,303	1,305	1,306
Price Book-value Ratio(株価純資産倍率=株価÷1株当たり純資産)	1.065	0.921	0.929	1.350	2.682	4.280	2.888	2.523	2.160	2.118	0.633

受注高(千円)	42,360,504	50,513,696	51,026,313	64,533,320	73,532,493	90,871,566	93,850,656	102,624,817	84,764,490	84,899,922	72,242,951
売上高(千円)	40,221,197	42,942,726	49,786,343	51,481,729	64,914,975	76,944,422	91,561,076	81,834,495	77,791,842	84,068,168	91,535,360
営業損益(千円)	908,447	1,960,766	1,070,440	2,885,611	4,288,953	6,783,883	8,793,644	2,132,004	4,466,160	4,321,331	1,807,573
経常損益(千円)	481,750	1,510,551	603,252	3,105,411	4,539,132	7,827,976	8,245,691	1,285,942	3,504,111	3,290,356	1,178,069
当期純損益(千円)	109,847	192,498	11,671	1,709,518	2,721,435	4,795,131	5,169,843	1,014,504	1,681,574	1,910,717	605,832
期末発行済株式総数(株)	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974
自己株式数(株)(期末日現在の実質数)	31,129	34,967	37,334	38,304	38,444	38,551	38,635	38,730	38,762	38,832	38,932
純資産額(千円)(少数株主持分を含みます)	15,263,759	15,072,831	14,936,940	16,913,096	19,358,465	23,733,419	27,363,884	27,189,544	28,752,312	30,173,524	29,844,970
ROE(株主資本当期純利益率)(資本は期首&期末の平均)	0.72%	1.27%	0.08%	10.73%	15.01%	22.64%	20.24%	3.72%	6.01%	6.49%	2.02%
総資産額(千円)	57,152,731	57,571,098	56,869,592	64,544,678	71,647,843	87,921,898	92,284,339	92,559,772	94,456,929	102,980,852	120,184,545
ROA(総資産経常利益率)(資産は期首&期末の平均)	0.83%	2.63%	1.05%	5.12%	6.67%	9.81%	9.15%	1.39%	3.75%	3.33%	1.06%
1株当たり純資産額(円)(期末純資産÷期末発行済株式数)	568.85	561.81	556.80	630.48	721.64	884.74	1,020.08	1,013.58	1,071.84	1,124.82	1,112.58
1株当たり配当額(円)	5.00	3.00	3.00	10.00	15.00	35.00	10.00	10.00	20.00	20.00	20.00
1株当たり当期純損益(円)(株数は期中平均株式数)	4.09	7.17	0.44	63.73	101.45	178.75	192.72	37.82	62.69	71.23	22.58
自己資本比率(期末比)	26.71%	26.18%	26.27%	26.20%	27.02%	26.99%	29.65%	29.38%	30.44%	29.30%	24.83%
決算日又は、前直近日の株価(円/1株)	519	451	470	786	1,925	2,816	2,816	2,475	2,242	2,314	701
株価収益率(倍)(決算日株価÷1株利益)	126.78	62.86	1,080.35	12.33	18.98	20.50	14.61	65.44	35.77	32.49	31.04
配当性向(1株配当金/1株当期利益)	122.14%	41.82%	681.80%	15.69%	14.79%	19.58%	20.76%	26.44%	31.90%	28.08%	88.56%
株主資本配当率(DOE=Dividend on equity ratio)	0.88%	0.53%	0.54%	1.68%	2.22%	4.36%	4.20%	0.98%	1.92%	1.82%	1.79%
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	1,602,338	▲1,503,470	1,955,786	3,244,861	1,761,667	2,946,905	4,689,721	2,128,814	3,971,369	9,365,287	▲11,285,545
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	▲751,546	▲735,099	▲1,051,614	▲3,421,334	▲2,247,339	▲3,667,146	▲3,857,636	▲3,176,083	▲2,810,912	▲1,944,626	▲2,570,856
フリー・キャッシュ・フロー(千円)	850,792	▲2,238,570	904,171	▲176,473	▲485,672	▲720,241	832,085	▲1,047,269	1,160,457	7,420,661	▲13,856,401
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	▲2,251,006	1,005,291	▲1,442,705	▲249,963	▲572,101	2,180,608	▲242,165	▲587,789	▲460,904	▲5,828,422	16,953,530
現金及び現金同等物の期末残高	4,808,542	3,451,451	2,902,373	2,579,927	1,589,435	3,050,112	1,772,528	2,399,235	4,046,160	4,046,172	7,167,370
従業員数(人:期末日)	2,027	2,148	2,250	2,296	2,406	2,870	3,109	3,040	3,087	3,177	3,465
Price Book-value Ratio(株価純資産倍率=株価÷1株当たり純資産)	0.912	0.802	0.844	1.246	2.667	4.142	2.760	2.441	2.091	2.057	0.630

\*この資料における数値について、記載金額は、表示桁未満を切捨てており、%(パーセント)は、表示桁未満を四捨五入して作成、表示しております。

技術を翼に世界の空へ

 **Jamco**  
ALWAYS FLY TOGETHER



*Always Fly Together*